

1. 長期的な取組方針

- 湖西市では、平成 25 年度からコーちゃんバスの運行を開始して 5 年が経過しました。
- 平成 29 年 5 月に湖西市地域公共交通網形成計画を策定し、その交通将来像の達成のため、スケジュールに則り、コーちゃんバスをはじめとした各主体の事業について、継続的に評価・改善と利用促進を行っていきます。
- そして、継続的に取り組みをしていくことで、市全体として自動車ばかりでなく、地域公共交通を利用するのが当たり前という長期的な雰囲気を醸成することを目標とします。
- 湖西市地域公共交通網形成計画を毎年、各主体が連携して、計画・実行・評価・改善といういわゆる PDCA サイクルを実行することにより、公共交通全体を改善していきます。

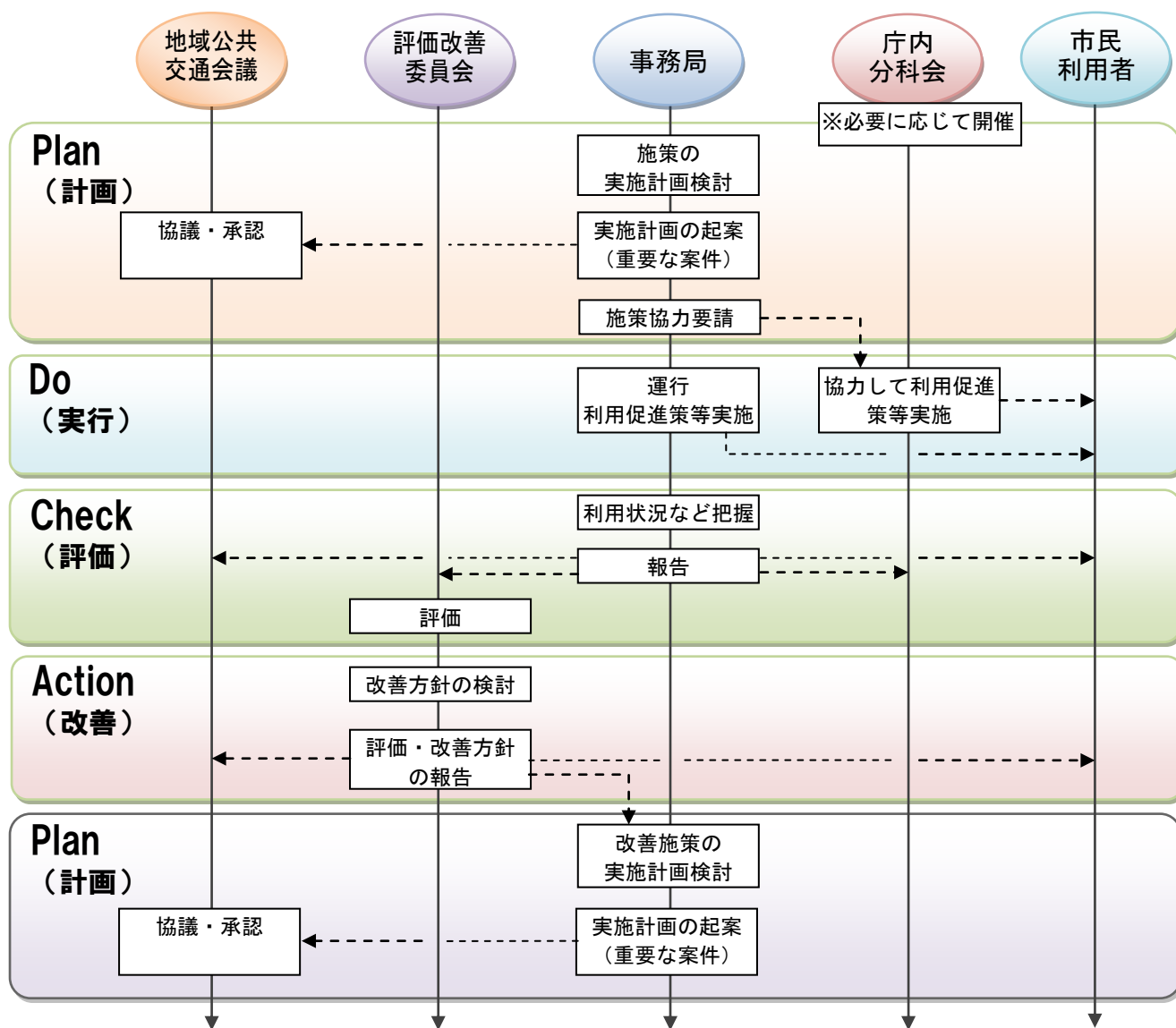


図 各主体の PDCA サイクルにおける役割

- 毎年の評価の対象期間は、前年 10 月 1 日～当該年の 9 月 30 日としています。
- 評価委員会から受けた提案は、事務局で詳細な検討を行い、できる施策から順次実施していきます。

2. 今年度の湖西市バス運行評価改善委員会の進め方

- 今年度の評価対象期間は、平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日とします。
- 湖西市バス運行評価改善委員会は、年 3 回開催を予定し、10 月及び 11 月、12 月に開催を予定します。
- 3 回で検討した評価内容を、湖西市地域公共交通会議に報告・提案します。

表 湖西市バス運行評価改善委員会の概要（案）

回数 (時期)	報告・協議事項	概要
第 1 回 (10/17)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 年間の取り組み事項の報告及び来年度実施予定（事務局案）の提示 ・ 上記内容に対する評価及び検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖西市地域公共交通網形成計画のスケジュールに沿って今年度やってきたこと（一年間の取り組み内容）を報告する。 ・ 来年度やっていきたいこと（実施案・改善案の事務局案）を提示する。 ・ 上記内容に対して、検討を行う。
第 2 回 (11/20)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価報告書の素案の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回委員会で協議した内容を反映させた評価報告書（素案）をもとに追加・修正箇所を検討する。
第 3 回 (12 月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価報告書の素案の最終確認 ・ 次年度の評価手法の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 2 回の検討結果を取りまとめた「評価報告書」（素案）の内容確認。 ・ 次年度の評価手法・評価指標などについて検討

図 評価・改善の進め方イメージ

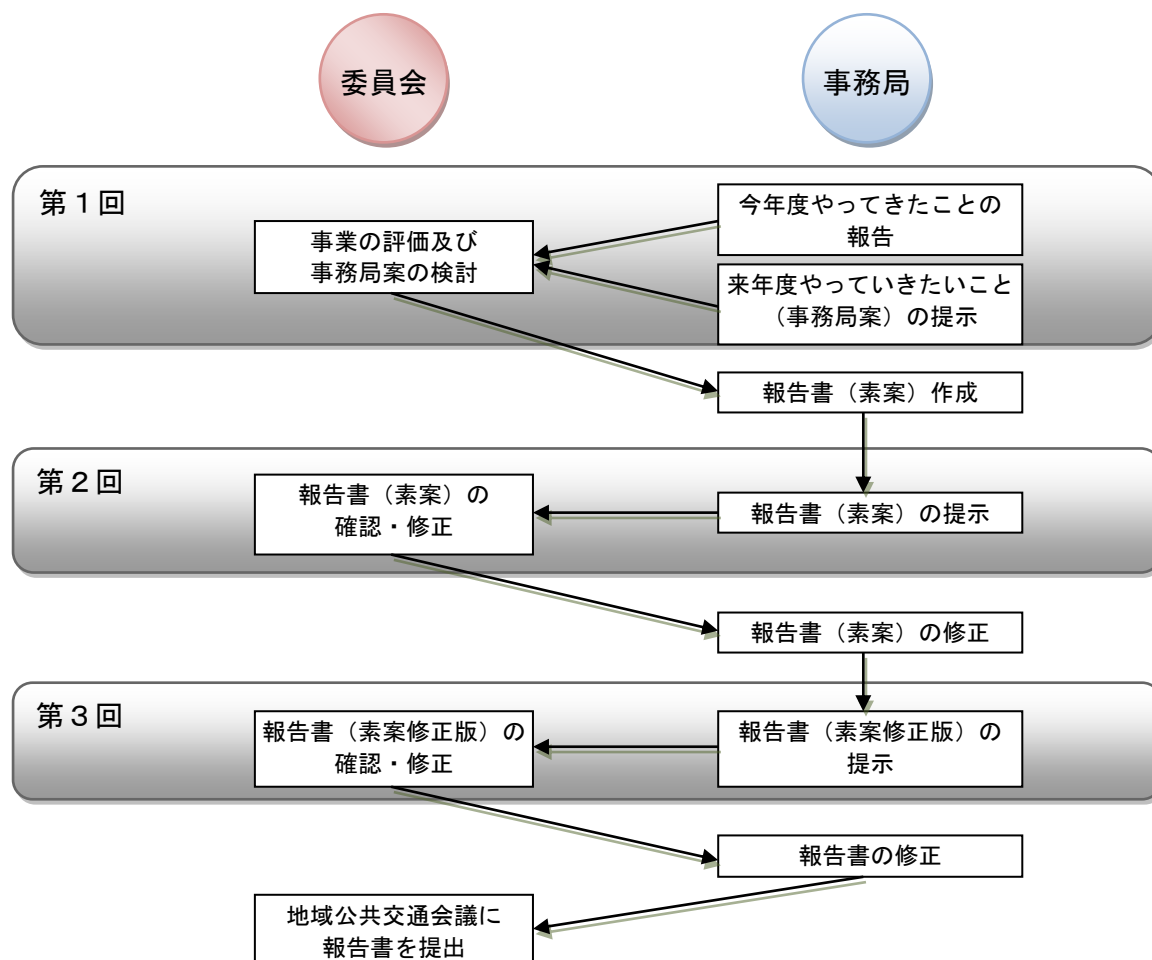


図 評価・改善の進め方イメージ (第1回)

湖西市バス運行評価改善委員会 今年度評価・来年度実施予定事業内容 (事務局案)。

※自己評価の三段階評価。
A: 事業が適切に実施・検討された。効果が顕著 B: 事業が適切に実施・検討された。一定の効果がある C: 事業が実施・検討されていない。改善が必要。

事業名	事業内容	今年度やってきたこと	来年度やっていきたいこと (実施案・改善案)
拠点内巡回・拠点アクセス	路線の再編 (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P12	A. バス事業者と調整な協議。○D調査、利用者アンケートを行い、再編に向けて情報収集や検討を行った。	今年度引き続きバス事業者と協議を継続し、○D調査結果、利用者アンケートを踏まえて路線の再編に向けて検討を行う。
	運賃体系の見直し (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P11	B. バス事業者と調整な協議。○D調査、利用者アンケートを行い、再編に向けて情報収集や検討を行った。	今年度引き続きバス事業者と協議を継続し、○D調査結果、利用者アンケートを踏まえて検討を行う。
	②自主運行バス派名線、 ・現行サービス水準での運行【継続】 (H29実施、H30~H31検討) ※資料1-2P12	A. H30年4月からコーちゃんバスへ移行した。	コーちゃんバスへ移行したため、来年度は事業を行わない。
	・路線の再編 (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P12	A. H30年4月からコーちゃんバスへ移行した。	コーちゃんバスへ移行したため、来年度は事業を行わない。
地域アイデア	①導入検討路線、 ・導入に向けた検討 (H29~H31.9検討) ※資料1-2P13	A. 白須賀地区において実証実験を開始した。	湖西市北部地区内の自治会への説明や地元住民へのPRなど、実証実験に向けた検討を行っている。
	・実証実験 (H29.12~H30.9実施) ※資料1-2P13	A. 白須賀地区において、H30年3月から実施した。	乗り方教室の実施や乗り合いのPRなど、積極的に利用促進を行いながら実証実験を継続する。
	・本格運行(地域との合意を得る) (H29.9~H33検討) ※資料1-2P13	B. 白須賀地区において、実証実験の延期 (H31.3.31まで) を行い、本格運行を見送った。	積極的に利用促進を行いながら、地域と本格運行の合意を得る。

②ひとつの事業名に対するすべての説明が終了しましたら、まとめて評価や検討を行います。

①「資料2」に記載の【今年度やってきたこと】及び【来年度やっていきたいこと】を事業内容ごとに「資料1-2.1-3.1-4」を参考資料として使用しながら事務局が説明します。

資料2

昨年度の評価及び改善提案
平成29年度の施策実施状況
(評価期間: 平成28年10月~平成29年9月)

平成30年10月17日
湖西市市民協働課

資料1-2

資料1-3

資料1-3

主要指標の動向

№	指標	H26	H27	H28	H29	H30
1	利用者数 (コーちゃんバス全体)	304人/日	333人/日	331人/日	339人/日	●人/日
2	路線別 (白須賀新居津線)	72人/日	75人/日	71人/日	69人/日	●人/日
3	(白須賀津線)	81人/日	75人/日	57人/日	62人/日	●人/日
4	(白須賀岡崎線)	42人/日	44人/日	41人/日	46人/日	●人/日
5	(岡崎橋樑線)	24人/日	19人/日	16人/日	16人/日	●人/日
6	(岡崎津線)	58人/日	65人/日	61人/日	65人/日	●人/日
7	(知波田津線)	47人/日	55人/日	46人/日	46人/日	●人/日
8	(筑津橋線)	—	—	40人/日	36人/日	●人/日
9	(自主運行バス派名線)	86人/日	95人/日	73人/日	69人/日	●人/日
10	乗継券発行枚数	207枚/月	149枚/月	341枚/月	229枚/月	●枚/月

※H26: 平成26年10月~平成26年9月
H27: 平成27年10月~平成27年9月
H28: 平成28年10月~平成28年9月
H29: 平成29年10月~平成29年9月
H30: 平成30年10月~平成30年9月

資料1-4

コーちゃんバス、自主運行バス派名線の利用状況

平成30年10月17日
湖西市市民協働課

資料1-4

湖西市バス運行評価改善委員会 今年度評価・来年度実施予定事業内容 (事務局案)。

※自己評価の三段階評価。
A: 事業が適切に実施・検討された。効果が顕著 B: 事業が適切に実施・検討された。一定の効果がある C: 事業が実施・検討されていない。改善が必要。

事業名	事業内容	今年度やってきたこと	来年度やっていきたいこと (実施案・改善案)
拠点内巡回・拠点アクセス	路線の再編 (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P12	A. バス事業者と調整な協議。○D調査、利用者アンケートを行い、再編に向けて情報収集や検討を行った。	今年度引き続きバス事業者と協議を継続し、○D調査結果、利用者アンケートを踏まえて路線の再編に向けて検討を行う。
	運賃体系の見直し (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P11	B. バス事業者と調整な協議。○D調査、利用者アンケートを行い、再編に向けて情報収集や検討を行った。	今年度引き続きバス事業者と協議を継続し、○D調査結果、利用者アンケートを踏まえて検討を行う。
	②自主運行バス派名線、 ・現行サービス水準での運行【継続】 (H29実施、H30~H31検討) ※資料1-2P12	A. H30年4月からコーちゃんバスへ移行した。	コーちゃんバスへ移行したため、来年度は事業を行わない。
	・路線の再編 (H29~H31.9検討) (H31.10~実施) ※資料1-2P12	A. H30年4月からコーちゃんバスへ移行した。	コーちゃんバスへ移行したため、来年度は事業を行わない。
地域アイデア	①導入検討路線、 ・導入に向けた検討 (H29~H31.9検討) ※資料1-2P13	A. 白須賀地区において実証実験を開始した。	湖西市北部地区内の自治会への説明や地元住民へのPRなど、実証実験に向けた検討を行っている。
	・実証実験 (H29.12~H30.9実施) ※資料1-2P13	A. 白須賀地区において、H30年3月から実施した。	乗り方教室の実施や乗り合いのPRなど、積極的に利用促進を行いながら実証実験を継続する。
	・本格運行(地域との合意を得る) (H29.9~H33検討) ※資料1-2P13	B. 白須賀地区において、実証実験の延期 (H31.3.31まで) を行い、本格運行を見送った。	積極的に利用促進を行いながら、地域と本格運行の合意を得る。

③次の事業名の事業内容を説明していきます。